

☆第4回国際連合アジアおよび

極東地域地図学会報告会☆

上記報告会が2月27日午後1時30分より、本所中央会議室で行なわれた。この会議は1964年11月21日から12月5日までフィリピン・マニラ市で行なわれたもので、測量技術と施策における国家間の相互協力を目的としたものである。

日本から、国土地理院の測図部長原田美道氏、在マニラ大使館員木村康宏氏、当生研より中村英夫氏その他測量業界から5名参加した。参加国は30カ国であった。第1部会で測地、第2部会で地形および写真測量、第3部会で写真判読および主題図、第4部会で国際百万航空図および地名統一の問題、第5部会で水路測量と海洋調査の問題が討論され、共通問題である地域地図機構、地域研修所、アジア地域地図測量の資料情報センターの問題は総会で討議された。

各国から提出された論文は約200の多数にのぼり、それぞれの国での経済開発の基礎としての地図作製の重要性とその問題について多くの討論がなされた。

☆講 演☆

◇助教授 北川英夫「腐食・ふん囲気が疲れ強さに及ぼす影響（鉄鋼の腐食疲れ強さ）」日本機械学会第229回講習会（材料の強さと設計に関する講習会）、発明会館ホールにおいて（1965.2.26）

☆寄 稿☆

◇助教授 山田嘉昭「塑性接触と摩擦(I)」表面3, 111~119 (1965.2)

◇教授 野崎 弘, 元野崎研究室員 粕谷敬子「電子写真用酸化チタン感光紙の研究」工業化学雑誌, 68, 2, 269

(1965)

◇研究生 沈 貞燮, 教授 菊池真一「二、三の重縮合型感光性樹脂の合成」同上, 68, 2, 387~392 (1965)

◇研究生 沈 貞燮, 元菊池研究室員 吉永忠司, 教授 菊池真一「重縮合型感光性樹脂の感光性」同上, 68, 2, 393~397

☆著 書☆

◇助教授 山田嘉昭「塑性力学」, 日刊工業新聞社, vi+350 pp (1965.1)

☆所 内 見 学☆

◇2月24日(水)に関西大学専任教師金田弥吉氏ほか工学部電気教室の学生約60名が高木、森脇、齋藤、渡辺、藤高各研究室を見学した。

☆海 外 渡 航☆

◇第3部 文部省派遣在外研究員として電子工学に関する調査研究のため昨39年3月アメリカに渡航していた安達芳夫教授は3月22日帰国する。

◇第2部 鈴木弘教授は文部省派遣在外研究員として塑性加工学および圧延技術に関する調査研究のため2月15日出発し、アメリカおよびヨーロッパ各国を歴訪して6月14日帰国の予定。

☆所 内 人 事☆

◇第3部 後藤以紀教授(併任)は本年3日末日をもって定年退官される。

◇第1部 富永五郎助教授は教授に昇任した(昭和40年3月1日付)

☆所 外 人 事☆

◇第5部 星 望 和教授は本年2月17日付で、東京交通安全審議会委員に就任を委しくされた。

筆 者 紹 介

◇小瀬 輝次 助教授 工博 専攻 応用光学
 ◇佐々木 秀行 文部省内地留学研究員
 (山梨大学工学部講師)
 ◇野村 民也 教授 工博 専攻 超高層観測
 電子工学
 ◇安田 靖彦 助教授 工博 専攻 デジタル
 通信方式
 ◇横山 茂士 技官 専攻 同上

◇村田悠紀夫 大学院学生 専攻 同上
 ◇鈴木 喬 助手 理博 専攻 無機工業化学
 ◇妹尾 学 大学院学生 専攻 同上
 ◇山辺 武郎 教授 工博 専攻 同上
 ◇山田 嘉昭 助教授 工博 専攻 材料力学
 ◇富永 五郎 教授 専攻 物理機器学
 ◇浜崎 襄二 助教授 工博 専攻 超短波工学
 ◇野口 宏 大学院学生 専攻 電子工学

出版委員	委 員	高橋 幸伯	委 員	石井 聖光	専門委員	星野 昌一
出版委員長	星 禁 和	高羽 禎雄	小林 一輔			菊池 真一
委 員	*山田 嘉昭	*藤井 陽一				
	成瀬 文雄	山辺 武郎			編 集 室	水野 清明
	松永 正久	西川 精一				
	木町 長生	明石 和夫				

*印当番委員

第17巻 第3号

生 産 研 究

(本誌は生産技術研究所の研究紹介誌として、毎月1回発行する)

1965年3月1日発行

印刷所 三美印刷株式会社
 東京都荒川区日暮里町 8-93

頒価 90円

編集者 星 望 和
 発行者 岡 本 舜 三

発行所 生産技術研究奨励会
 東京都港区麻布新竜土町10
 電話 (402) 1331(代表)